



# スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和4年1月31日発行 No.10

今回のテーマは『効果的な指示の出し方』です。

「指示」とは、やるべき「行動」を具体的に伝えることです。

今号では、指示を出す前のポイントをお伝えします。

## ポイント1 子どもの注意を引く

子どもは何か夢中になっていると、大人の言葉が耳に入らないことが多いです。子どものそばで「**〇〇くん**」など名前を呼んだり、「**トントン**」と体に触れるなどして注意を引きましょう。



## ポイント2 視線を合わせる

視線を合わせて話をすると、指示が心に届きやすいです。視線が合いにくい場合は無理に合わせる必要はありません。



子どもが呼びかけに気づいて振り向いたり、注意がこちらに向いている様子が見られたら、伝わっているサインです。

このポイント1とポイント2が揃ったら、そのときが指示を出すタイミングです。

どのように指示を出すと良いのかは次号で具体的にお伝えします。

質問や相談がありましたら、児童発達支援センター職員に気軽に声をかけてください。

地域支援相談担当 44-3555

野のはな園 44-1022